

2016年 第17回鉛年間大会講演会の案内

ご挨拶

本年は3年に一度の鉛年間にあたります。当協会鉛亜鉛需要開発センターにおいては、

『明日へ向かって 蓄えるエネルギー、鉛で実現 効率化社会』

を今年の標語に掲げ、鉛製品の需要振興を目的として、各種事業を展開しております。

その最大のイベントとして、第17回鉛年間大会講演会を開催いたします。

業務ご多忙の折りとは思いますが、万障お繰り合わせの上ご来場くださいますようご案内申し上げます。

日時：平成28年11月17日（木）13：00～16：30（受付開始12：30）

会場：連合会館 2階大会議室（東京都千代田区神田駿河台3-2-11）

共催：全国鉛管鉛板工業協同組合、日本鋳業協会鉛亜鉛需要開発センター

協賛：一般社団法人 電池工業会、一般社団法人 日本産業車両協会、
日本無機薬品協会、 全国鉛錫加工団体協議会



JR

- ・御茶ノ水駅 聖橋口 5分

地下鉄

- ・千代田線-新御茶ノ水駅
- ・丸の内線-淡路町駅
- ・新宿線-小川町駅

（地下通路 B3 出口直ぐ）

2016年 第17回鉛年間大会講演会

日時：平成28年11月17日（木）

会場：連合会館 2階大会議室

東京都千代田区神田駿河台 3-2-11

	参加受付開始	12：30～
1. 開会の辞		13：00
	日本鉱業協会 鉛亜鉛需要開発センター長	築城 修治
2. 主催者挨拶		13：00～13：05
	日本鉱業協会 会長	西田 計治
3. 来賓挨拶		13：05～13：10
	経済産業省 製造産業局 金属課長	山下 隆也
4. 講演（各講演時間 質疑応答を含む）		
(1) 鉛の需給、価格動向について		13：10～13：45
	東邦亜鉛株式会社 亜鉛・鉛事業本部 営業部 課長	小島 崇明
	1980年代以降の国内需給・世界需給の大まかな流れ、及び2000年以降の中国経済急成長後の需給・価格動向、また、今後の需給・価格動向について	
(2) サイクル用鉛蓄電池の用途展開について		13：45～14：25
	株式会社 GSユアサエナジー 商品技術部 課長	杉江 一宏
	サイクル用電池が活用される分野における鉛蓄電池の位置づけと、産業用車両や小規模蓄エネルギーシステムへの鉛蓄電池応用事例について紹介する。さらに今後の用途展開に対する課題について報告する。	
(3) バッテリー式フォークリフトの動向		14：25～15：05
	ニチユ三菱フォークリフト株式会社 執行役員 技術本部副本部長	山口 茂樹
	近年のフォークリフトを取り巻く社会環境の変化の中、その市場動向よりバッテリー式フォークリフトの位置付けと省エネ、安全、エネルギーなどの技術動向を紹介、物流機器の将来について述べる。	
	【休憩】	15：05～15：10
	《特別講演》	
(4) 放射性廃棄物とその対策の最前線		15：10～16：30
	日本原子力研究開発機構 バックエンド研究開発部門	財津 知久
	原子力施設から発生する放射性廃棄物とは何か、一般廃棄物とは何が違うのか、その特徴は何か、処理処分をどのようにするのか、超長期にわたる安全性をどのように評価するのかについて紹介する。	
5. 閉会の辞		16：30～16：35
	全国鉛管鉛板工業協同組合 理事長	佐久本 明

定員 220名（申し込みは先着順、定員になり次第締め切り）
参加登録 無料
講演集代 実費1000円/部にて販売いたします。
申込方法 別紙申込用紙に、氏名、所属、役職名、連絡先、電話番号、講演集の要・不要等を明記の上、FAX、ホームページ(<http://www.jlzda.gr.jp/>)またはe-mailにてお申し込み下さい。

- (注) ①申込〆切 11月10日(木)
但し、定員に達し、参加できない方にはその旨ご連絡します。
②参加者への参加券の発給はしませんので、参加申込された方は、時間までに講演会場へご参集ください。

申込先 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-17-11
日本鉱業協会 鉛亜鉛需要開発センター (HP: <http://www.jlzda.gr.jp/>)
事務局 (担当 大内)
e-mail ; ohuchi@kogyo-kyokai.gr.jp Tel:03-5280-7151 Fax: 03-5280-7170

以上